

第 1 5 2 回 群 嶺 テ ク ノ セ ミ ナ ー

群嶺テクノ懇話会会長 山岸 良一
校長補佐（研究・地域連携推進担当、
地域連携テクノセンター長）宮越 俊一

【講演題目】

ローカルなリサイクル社会形成を目指した農林水産業で利用できる技術の開発

環境都市工学科 准教授 宮里 直樹

日時：平成29年6月16日（金）16時30分～17時30分

会場：群馬工業高等専門学校（群馬県前橋市烏羽町580）

群嶺会館東側S-103教室

【講演内容】

持続可能な循環型社会形成において、廃棄物の再利用や再資源化は重要なテーマとなっています。これを背景として21世紀に入って、私たちの生活も大きく変化しました。これは、下水処理の分野においても同様です。

下水処理では、微生物の力を借りて水の汚れ（有機物や窒素、リンなど）を取り除いています。

微生物が生きるために“汚れ”を食べてくれるからです。そのため、水は元の環境に戻すことができます

ようになります。そして、微生物は増殖します。下水道の普及により、処理する下水量（除去する汚れ）が増加し、この増殖した微生物（汚泥）の処理が必要になりました。この解決策として、私たちの衛生工学を基盤とした研究グループでは、農業や畜産業、漁業と連携していくことが解決法を生み出せると考えています。

本セミナーでは、上記の汚泥を有効利用とする取り組みなど、私たちがテーマとしている次世代を見据えた廃棄物利用について紹介します。

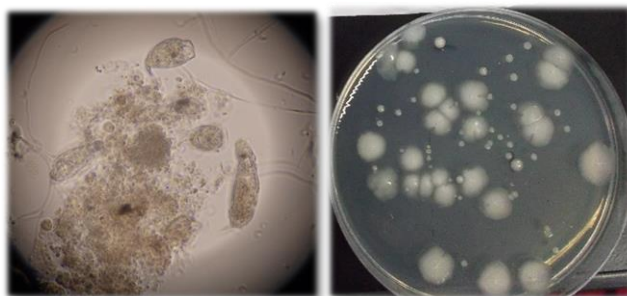


図 下水処理を行う微生物（左）と、その1つで土壌改良用として活躍が期待される Bacillus 属の微生物コロニー（右）

※セミナー終了後17：30から「講師との懇話会」を、高専関係者及びセミナー聴講者により開催します。

主催：群嶺テクノ懇話会・群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター